

## 研究開発課題事後評価結果

事業名（年度）	次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業 （平成28年度～令和2年度）
研究開発課題名	糖鎖利用による革新的創薬技術開発事業
分担研究開発課題名	超高効率濃縮法に基づくCE-LIF-MS微量糖鎖分析システムの開発
代表機関名	国立研究開発法人理化学研究所
研究開発代表者名	川井 隆之

### 【評価結果】

大変優れている／計画した成果を多少上回る成果が得られた

### 【評価コメント】

超高効率濃縮法を搭載した世界最高感度の糖鎖分析技術LDIS-CE-LIF/MS分析システムの開発に成功し、確立した手法を用いてスキルス胃がん等に適用し、ヒト臨床検体において10細胞程度の検体からの糖鎖構造解析を行うことに成功するなど、目標を上回る成果として評価できる。開発された技術は、糖鎖生物学、特にグリコーム研究に大きく貢献することが期待できる。また、糖鎖に限らず、様々な生体分子に関連する創薬研究への応用が期待される。

超高感度解析により、スキルス胃がんにおいて糖鎖構造の差異が検出されているが、今後、病因との関連性について等、バイオロジー解析が望まれる。また、臨床検体への応用・実証、微小切片からの糖ペプチドの解析も進めていただきたい。

以上